

文京区  
シンボルマーク文の京  
(ふみのみやこ)

## 区報アソシエイト

令和8年(2026)

1月1日

No.1875

問広報戦略課広報担当  
03-5803-1128

## 新春対談



あけましておめでとうございます！新しい年が始まりましたね。昨年は、夏が早く来てとても暑かったり、物の値段が上がったり、外国からたくさん的人が来たりと、皆さんの生活に色々なことがあった一年でした。

今年は、文京区に住む皆さんのが安心して毎日を過ごせるように、色々なことに力を入れていきます。4月にはこどもたちの権利を守るためのルールである「文京区こどもの権利に関する条例」が出来上がります。こどもの権利について皆さんに知ってもらい、一緒に守っていけるよう、取り組んでいきます。他にも、こどもたちが困ったときに相談できるところを作ったり、勉強や生活で困つたりしていることを助ける取組もしていきます。そして、大変な思いをする子がないように、こどもたちが元気に育っていけるよう、地域のみんなで助け合えるまちにしていきます。仕事を見つけるのが難しい人や、家族の介護などで大変な思いをしている人など、困っているこどもや若い人たちを、もっと助けていけるように、力を入れていきます。

これからも、文京区に住む皆さんのが「このまちに住んでいてよかった」と心から思えるように、色々なことに一生懸命取り組んでいくので、皆さんの応援や協力をお願いします。

最後に、今年一年が皆さんにとって、たくさん良いことがありますように心から願って、新年のごあいさつといたします。

文京区長 成澤廣修

8年4月スタート

文京区こどもの権利に関する条例を制定  
こども100%の前文づくり！

全てのこどもは、自分らしく健康に育つために、生まれながらに権利を持っています。この「こどもの権利」についてこどもも大人もみんなが正しく知って、一緒に守っていくため、文京区ではまちのルールである条例を作ります。

条例の目的などを示す前文は、区内の中・高生が「こどもの権利推進リーダー」となって、自分たちで作成しました。リーダー会議を7回行い、のべ300人の中・高生が参加しました。前文を作る時にリーダーたちがどのように取り組んだのか、今回は、こどもの権利推進リーダーであるこどもたちと区長で対談しました(詳しくは次のページへ▶)。



▲完成した前文案が掲載されたパネルを囲んで

本号はこどもにも読んでいただけるように作成しています

毎月10・25日発行(次回は1月25日号)

発行/文京区 編集/企画政策部広報戦略課 〒112-8555 文京区春日1-16-21

代表 ☎ 03-3812-7111 <https://www.city.bunkyo.lg.jp/>

☆区報1月1日号は新聞(朝日、毎日、読売、産経、東京、日本経済、日刊スポーツ、スポーツニッポン、スポーツ報知、サンケイスポーツ、デイリースポーツ)折込で区内世帯に配布しています。そのほか、区の施設に置いてあります。





昨年、区などが実施したイベントをメディアパートナー区報グループの皆さんが取材しました。

\*メディアパートナー:より身近で開かれた広報を目指して、区の広報活動にご協力いただく区民の皆さんを「メディアパートナー」として区が委嘱し、活動していただいている。 (7年度メンバー:青木さん、板橋さん、木村さん、嶋田さん、橋さん)

## Bunkyo Sports Park2025 [木村さん]

区ゆかりの団体や企業が出展するスポーツ体験イベント「Bunkyo Sports Park 2025」が開催され、多くの来場者で賑わいました。参加した子どもたちは、楽しそうにサッカーボールを蹴ったり、バスケットボールのシュートに挑戦したりしていました。体力測定のブースでは、握力測定や長座体前屈などに奮闘する真剣な姿が見られました。多くの人たちがスポーツに慣れ親しむ良い機会になったのではないでしょうか。



▲体験ブース

## 第13回文京・見どころ絵はがき大賞 [橋さん]

絵はがき大賞の主催は文京建築会、実行委員会はボランティア運営で、7年8月21日～24日にシビックセンターで開催した。会場には403点の応募作品が文京区の地区ごとに設置され、子どもからシニアまでの来場者で賑わった。

この賞は文京区の好きな場所をはがきに楽しく描くのが主旨。年齢にこだわらない。昨年の大賞は山本茅映さん(受賞時14才)の「お化け階段」。アニメやイラスト好きの山本さんは、毎日歩く根津の古い階段を初めての鉛筆画で挑戦し見事に大賞受賞。「文京区らしい想像を促してくれる作品」との講評。

8月23日の表彰式は、約100名の出席で和気あいあいの熱気に満ちた雰囲気。入選作、優秀賞、区長賞や文京建築会賞など各賞が授与され、小・中学校などの団体賞も発表された。



▲大賞作品

## フレイル予防教室(栄養編) [青木さん]

「フレイル」という言葉が気になり始め、「フレイル予防教室(栄養編)」に参加しました。運動だけではなく、食事から摂る栄養も重要な予防法であることを学びました。講師は、東京都健康長寿医療センター研究所の横山友里先生で、エビデンスを示しながらの納得のいく講義でした。

グループワークでは、実際にどのような調理法で必要な栄養素を摂り入れていくかという情報交換ができ、その日から実践できる有意義な講義でした。



## 子育てフェスティバル2025 [嶋田さん]

妊娠・出産から、総合的な子育て支援を行っている文京区の年に一度の「お子さんとご家族のための祭典」です。保育園での活動を体験できるブース出展、私立保育園の園児や職員が作成した「子どものマイブーム」～今、夢中になっている遊び～がテーマの掲示物が展示されました。

そのほか、児童館職員と竹早教員保育士養成所によるふれあい遊びや読み聞かせ、工作や手形などのほか、手作りおもちゃで自由に遊べるコーナーも。ステージでは、コンサートや紙芝居SHOWなど見どころ満載！親子で一日楽しめるイベントです。



▲体験ブース



▲展示の様子

## 文の京ガイドツアー [板橋さん]

第2回「文の京ガイドツアー」肥後細川庭園から漱石山房～文化と歴史が繋ぐ熊本県・熊本市・新宿区・文京区の足跡を巡る～に参加しました。4自治体は、江戸時代の熊本藩細川家下屋敷の庭園跡地(現在の肥後細川庭園)や夏目漱石の生涯を通じて深い繋がりがあります。

今回は肥後細川庭園や神社を巡り、最後は漱石山房記念館を見学しました。錦絵や古写真等を交えたガイドの解説は分かりやすく、文化と歴史を体感できる充実した街歩きでした。楽しく学べる観光ガイドツアー、是非多くの方におすすめしたいです。



## 成人の日記念 はたちのつどい

はたちの皆さんの参加をお待ちしています

■1月12日(祝・月)午前11時～正午会シビックホール大ホール  
■平成17年4月2日～18年4月1日生まれの区内在住者▶成人の日  
記念ライブ ハラミちゃんin文京、湯島天神太鼓▶設置コーナー 区立  
小・中学校からのメッセージ、記念写真、行政PR等

※詳細は招待状参照  
※招待状が届いていない場合、1月5日(月)以降に区民課へ  
※式典の一部をライブ配信(予定)  
問区民課 地域振興・協働推進担当☎03-5803-1170



▲詳細はこちら



▲ハラミちゃん

## 「はたちの献血」にご協力ください

1月1日～2月28日は、  
はたちの献血キャンペーン期間

冬は寒さで体調を崩す方が多く、血液確保が厳しくなります。  
多くの皆さんに、献血のご協力をお願いします。

■1月14日(水)①午前10時～11時30分②午後1時～  
4時会アートサロン申当日直接会場へ(事前予約可)  
問東京都赤十字血液センター献血推進課☎03-5272-  
3523、献血推進協議会事務局(生活衛生課)☎03-  
5803-1223



▲予約はこちら